

## 元気ネットワーク 事業の内容は

【質問】 地域が家族いつまでも元気ネットワーク事業の内容は。また宮守地域において予防介護に大きな役割を担ってきた託老事業だが今後の見通しは。

【答弁】 国からの補助を受け、高齢者への介護サービス等を提供する小規模施設を配置し在宅福祉を推進するもので、今年度は松崎町に施設を設置するものである。

宮守町の託老事業は旧遠野市でもふれあいホームという形で同じような事業を展開してきた。17年度に介護保険制度と老人福祉制度が見直しされたことにより国からの補助を活用した本事業にも影響があると考えられるが、今までと同じようなサービスを提供できるように、今後協議していきたい。

## 米の生産調整 配分について

【質問】 県の発表では2006年産米目標数量11,217t、3.77%減の数値は県下で遠野が一番多いではないのか。厳しい数値の配分を受けたときに市担当課はすぐに対応しないのか。この配分では、米生産農家としては納得いかない。作況指数が104と豊作のために数値が多いのではないのか。

【答弁】 県配分は基準が定められている。反収の関係や作況指数の関係もある。県の配分に対して反応が遅すぎる事は事実であり、今後は、即反応できる努力をしてまいりたい。



市民の安全、安心を守る消防団

## 耐震診断事業 について

【質問】 市庁舎の耐震は大丈夫か。

【答弁】 耐震度的には劣っているが、当面は維持補修しながらこのまま持たせたい。

【質問】 民間木造住宅等の耐震診断事業の内容の詳細はどうなっているか。

【答弁】 県事業で、昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた木造住宅等において、その耐震度を調べる事業である。一戸あたり3万円の費用のうち、個人負担が3千円、あとは国・県の補助を受けて市が負担して行く。一応今年度は30戸を予定しており、旧遠野市25戸、旧宮守村5戸となっている。5年かけてこの事業を実施するが、耐震度に問題のある建物があった場合、県内の動向を見ながら、その対応等を決定して参りたい。

## 誤報による消防 出動について

【質問】 火災発生が防災無線で放送されたが、その後誤報であったとのこと。前回はそうであったが、その内容の詳細は。

【答弁】 過日の火災は全くの虚偽の通報であり、誤報ではない。

【質問】 そうすると、全く嘘をついているということであるが、消防署ではどういう対応をしているのか。

【答弁】 火災通報である以上、必ず出動することになっており、出動せざるを得ない。

【質問】 携帯電話での通報であったということであるが、逆探知はできないものか。

【答弁】 携帯電話はいつでも非通知であった。今後は確認、特定をすることができるよう対策を検討したい。

## 議員談話室

地方分権一括法の施行に伴い旧遠野市、旧宮守村が合併。新遠野市が誕生と同時に両市村議会も13箇月の在任特例を適用し、互譲の精神で融和し新遠野市議会を充足した。今後は新市の将来像である「永遠の日本のふるさと」を目指し、市民ニーズに的確に応えられる新市総合発展計画の策定に努め、真に潤いと豊かさの実感できる町づくりにまい進したいものです。

議会は市民の声に真摯に耳を傾け、それを市政に反映せしめる責務があると思いますが、市当局とはいたずらに摩擦を起すようなことは避けなければなりません。同時に安易な妥協に陥ることがあってはなりません。

市政発展のうえに立って正しく相携えて市民の信託に応える新遠野郷の発展に努力したいものです。

(多田嘉一議員)